

2020～2021 年度
週報



R | 会長 ホルガー・クナーク
R | テーマ 『ロータリーは機会の扉を開く』
地区ガバナー 相原 茂吉
地区テーマ 『Let's make fellows!』『友達をつくろう!』



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川4-25-3 TEL 04-2954-9595
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
HP: <https://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 柴田讓 会長エクト 菊田邦彦 副会長 寶積英彦 幹事 佐々木康

【第3グループ 例会日: 新狭山① 入間② 入間南③ 飯能④ 日高⑤ 狭山中央⑥ 所沢⑦ 新所沢⑧ 所沢西⑨ 所沢東⑩ 所沢中央⑪】

第1266回 (4月23日) 例会の記録

点 鐘 柴田讓会長
合 唱 我らの生業
第2副SAA 佐々谷会員 清水(武)会員

出席報告 出席向上委員会 < 小幡直樹 委員長 >

会員数	出席者数	出席率
23名	18名	81.82%

パスト会長の時間



小幡 直樹 パスト会長
2009-2010 年度 (第17期)

【 狭山中央ロータリークラブ 】

クラブ設立

私達の狭山中央ロータリークラブは、狭山ロータリークラブを親クラブとして、平成5年(1993年)5月18日、移籍会員13名を含め総会員数37名で創立総会例会1回目を東武サロンで挙行し、6月2日に国際ロータリー加盟(日本で2069番目、地区で50番目のロータリークラブとして)承認されました。そして11月6日、『認証状伝達式』を新宿の京王プラ

ザホテルに於いて挙行されました。土屋県知事、大野狭山市長、忠武市長、県会議員、市会議員、各界の名士のご来賓やパストガバナーをはじめ各地のロータリアンの出席を頂き、1000名以上でのとても盛大な発会式典でした。

当時の例会は、毎週火曜12:30より石川会員の「割烹喜代川」に於いて開催されておりましたが、数年後「東武サロン」へ変わり、そして現在の「レストランニックス」になりました。

姉妹クラブ

平成元年11月、狭山市制35周年式典に、狭山市と姉妹都市を結ぶ忠武市(現統営市)のロータリークラブ会長他多数のメンバーが来日し、両クラブより姉妹クラブ結成問題が提案されました。両クラブ共慎重に審議する中、平成2年2月狭山ロータリークラブのメンバー石山・吉松・石川氏をはじめとする5人が訪韓して会談し合意に至り、平成2年5月24日姉妹クラブ締結となりました。

狭山ロータリークラブより拡大と同時に、忠武ロータリークラブの新クラブへの移行の申し出があり、狭山中央ロータリークラブとして承認。平成5年(1993年)11月6日京王プラザホテルにて『忠武ロータリークラブ姉妹締結式』が再度挙行されました。

会長を経験して

私が会長をした時のガバナーはお寺の住職をされている方で「法事は何時にでもずらせるがロータリーはずらせない」と言い、とても熱心にロータリー活動をされていました。そして、会長になったら3年分の「ロータリーの友」を読み、その中から「会長の時間」の話をするように等々、会長として、ロータリアンとして大切な沢山の事を教えていただきました。

そんな魅力的なガバナーのお蔭か、研修や会合に出席するのも全く苦にならず、楽しく充実した一年間でした。会長をやった良かったなあと思つづく思います。皆様もどうか是非この経験をしてください!
会長としてこの鐘を鳴らすのはとても貴重なことだと思います!

幹事報告

〈 佐々木康 幹事 〉

受贈会報

- ・所沢西RC
- ・入間南RC
- ・所沢RC

回 覧

- ・ハイライトよねやま
- ・所沢西RCより「例会変更のお知らせ」



袈裟



金剛杖



念珠



経本



納経帳



納札

会員卓話 菊田邦彦 会員

旅をして知る……



四国にある弘法大師ゆかりの 八十八ヶ所の霊場を巡拝する旅

四国は国の中心地から遠く離れた地であり、様々な修行の場でもありました。弘法大師も度々修行され八十八ヶ所の寺院を選び霊場を開創されたと伝えられています。そのお大師さまの御跡である八十八ヶ所霊場を巡礼することが遍路です。

遍路修行をしているときは、常に弘法大師と共にいます。四国遍路の場合は、その象徴として金剛杖がお大師さまそのものとされています。

遍路修行者は複数人であっても、個人とお大師さまの同行二人であります。

八十八ヶ所すべてを参拝し終えることを結願(けちがん)といい、煩惱が除かれ八十八の後利益功德が得られると言われてしています。

〈 遍路姿 〉

白装束が基本。袈裟は必ず着用し、杖、念珠、納経帳、ろうそく、線香、ライター、賽銭等を持ちます。(少し略す場合は洋服の上に白衣と輪袈裟を着け白の靴でもよい)

〈 参拝手順 〉

- 一. 山門(仁王門)で合掌、一礼して境内に入る
- 二. 手洗い所で身を清める
- 三. 参拝前に鐘を打つ(鐘を打てるところのみ)
鐘は参拝前の合図ともされており、打ち忘れても参拝後には打たない
- 四. 本堂へ向かい献灯、献香、納札を収め、鐘を打ち、お賽銭を納め、礼拝し、お経を奉納
- 五. 大師堂へお参り(本堂と同じ手順)
- 六. 納経所でお納経(ご朱印)をいただく
- 七. 山門(仁王門)で合掌、一礼する

〈 禁止マナー 〉

橋の上ではお杖をつかない
鐘はやさしく打つ
出鐘、戻り鐘はしない
トイレに金剛杖を持ち込まない
柄杓を使ったら柄を清める
お賽銭は投げ込まない
両替はしない
合掌は手を叩かない
宿に着いたら先ず杖を洗う
ろうそく、線香のもらい火をしない

〈 逆打ち 〉

四国八十八ヶ所巡礼で、香川県さぬき市の第88番札所大窪寺を出発して四国を左回りに、徳島県鳴門市の第1札所霊山寺へと巡ることを「逆打ち」といい、うるう年に逆打ちすると巡礼3回分の御利益がある、また、弘法大師と会えるなどの言い伝えがある。

〈 高野山参り 〉

八十八ヶ所すべての札所を巡り、お遍路を結願した後に高野山に行くお遍路さんも多くいます。これを「高野山参り」と言います。四国遍路は弘法大師の足跡を辿る旅でもあり、無事に八十八ヶ所を巡り終えた報告と感謝の気持ちをお大師様にお伝えするので

す。
私は運よく2020年のうるう年に逆打ちしましたが、時期をみて高野山奥之院へ行こうと考えています。



2021-2022 年度会長・幹事よりお願い

2021-2022 年度の「年度計画書」作成にあたり、各委員長の「委員会活動計画」を5月20日(木)までに事務局へご提出くださいますようお願いいたします。

詳細は各委員長へお渡しした資料をご参照ください。

ニコニコボックス

- 柴田君 例会が連続して実施できていることに良い傾向と思いましたが、またまたコロナが感染拡大に入っている様です。注視しながら対応したいと思います。
- 江原君 小幡先生、パスト会長の時間を宜しくお願い致します。菊田エレクト、会員卓話の時間を宜しくお願い致します。本日のお二人のお話しを楽しみにしております。
- 浜野君 小幡パスト会長のパスト会長の時間、菊田会員の卓話を楽しみにしていました。宜しくお願い致します。2回もお休みして申し訳ありませんでした。
- 菊田君 会員卓話、自分の趣味の内旅行の思い出話を皆様に聞いていただければうれしいです。
- 小島君 小幡先生、パスト会長の時間楽しみにしておりました。菊田会長エレクト、会員卓話宜しくお願ひします。
- 渡邊君 菊田邦彦会員、本日の卓話を楽しみにしておりました。どうぞ宜しくお願ひ致します。

◆ 次の例会 ◆

5月14日(金)

第2副SAA：高田会員 若松会員
仁江-ヨシノベチ：大野裕一会員
定例理事会（例会終了後）

5月21日(金)

第2副SAA：東会員 江原会員
会員卓話：浜野貴子会員

5月28日(金)

例会取り止め



